



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL <http://www.fujitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 財務本部長 (氏名) 北川 由雄

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 0749-30-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,919	△11.1	340	△68.9	396	△67.9	17	△98.4
23年3月期第1四半期	24,663	11.5	1,096	—	1,232	—	1,107	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,197百万円 (△4.7%) 23年3月期第1四半期 1,257百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.19	—
23年3月期第1四半期	11.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	105,827	67,492	59.6
23年3月期	104,817	67,161	59.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 63,025百万円 23年3月期 62,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	0.8	2,300	0.7	2,400	2.8	1,200	5.6	12.82
通期	104,000	1.9	5,700	9.2	5,900	8.3	3,300	△56.4	35.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	93,767,317 株	23年3月期	93,767,317 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	194,976 株	23年3月期	193,269 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	93,572,896 株	23年3月期1Q	93,578,601 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了し、平成23年8月9日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	前年同期比 (%)
売上高	24,663	21,919	△11.1
国 内	11,276	10,526	△6.7
海 外	13,386	11,393	△14.9
営業利益	1,096	340	△68.9
経常利益	1,232	396	△67.9
四半期純利益	1,107	17	△98.4
1株当たり四半期純利益	11.83円	0.19円	—

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧米では景気回復に減速感が強まる一方、アジアでは、中国を始めとして堅調な景気拡大が持続しました。日本経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響による落ち込みから、生産活動の回復に伴い、持ち直しの動きがみられました。

昇降機業界におきましては、中国市場では集合住宅向けを中心に需要が引き続き拡大しましたが、北米、欧州の各市場では、建設投資が総じて低調な中、厳しい環境が続きました。日本では、震災後、需要は持ち直しつつあるものの、依然として低水準で推移しました。

このような情勢の下、当第1四半期連結累計期間における国内市場では、エレベータ「エクシオール」の受注増と共に、既設のエレベータ・エスカレータに最新の制御システムを導入するモダンゼーション事業が引き続き伸長し、国内受注高は、117億5百万円（前年同期比4.4%増）となりました。海外市場では、中国で集合住宅向けエレベータ「GLVF-E」を中心に新設工事が増加したものの、北米での減少や為替の円高により、海外受注高は115億36百万円（同0.8%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は232億42百万円（同1.7%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質6.0%増となっています。

売上高は、国内売上高105億26百万円（同6.7%減）、海外売上高113億93百万円（同14.9%減）となり、219億19百万円（同11.1%減）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質では9.3%減となりました。

受注残高は、国内では新設工事およびモダンゼーション工事が共に増加し、367億25百万円（前年度末比3.4%増）となり、海外受注残高は、北米での減少や為替の円高により、605億23百万円（同7.2%減）となった結果、972億48百万円（同3.4%減）となりました。

損益面では、北米および東アジアでの減益により、営業利益は3億40百万円（前年同期比68.9%減）、経常利益は3億96百万円（同67.9%減）となりました。特別損益の純額は、投資有価証券評価損の計上で、88百万円の損失となり、税金等調整前四半期純利益は3億7百万円（同79.4%減）となりました。税金費用および少数株主利益控除後の四半期純利益は、17百万円（同98.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額
日本	12,615	11,210	△11.1	△139	△199	△59
北米	3,225	2,348	△27.2	△10	△258	△248
欧州	161	100	△37.6	6	△8	△15
南アジア	2,530	2,361	△6.7	371	418	46
東アジア	7,204	7,090	△1.6	878	389	△489
小計	25,738	23,110	△10.2	1,106	341	△765
消去	△1,074	△1,191	—	△10	△0	9
連結	24,663	21,919	△11.1	1,096	340	△755

(日本)

売上高は、保守・モダニゼーション工事が増加したものの、新設工事の減少により、112億10百万円（前年同期比11.1%減）となりました。営業損益は、売上高の減少や販売管理費の増加などで、1億99百万円の営業損失（前年同期 営業損失1億39百万円）となりました。

(北米)

売上高は、新設工事の減少により23億48百万円（前年同期比27.2%減）となり、営業損益は、売上高の減少や新設工事の採算低下により、2億58百万円の営業損失（前年同期 営業損失10百万円）となりました。

(欧州)

売上高は、エスカレータ新設工事が減少し、1億円（前年同期比37.6%減）となり、営業損益は保守の利益率低下もあり、8百万円の営業損失（前年同期 営業利益6百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、新設工事の納期延伸などで、23億61百万円（前年同期比6.7%減）となりました。営業利益は、原価削減による新設工事の採算向上により、4億18百万円（同46百万円増）となりました。

(東アジア)

売上高は、中国でエレベータ新設工事が増加したものの、香港、韓国での新設工事の減少および為替の円高により、70億90百万円（前年同期比1.6%減）となり、営業利益は、価格競争の激化や原材料費の高騰などで、3億89百万円（同4億89百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、1,058億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少に対し、現金及び預金ならびに原材料及び貯蔵品が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億78百万円増加し、383億35百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方、工事損失引当金および前受金が増加したことによります。

純資産額は、674億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円増加しました。これは主に、剰余金の配当による減少に対し、為替換算調整勘定が増加したことによります。また、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.6%（前年度末比0.3ポイント減）となり、1株当たり純資産額は673.55円（同2.31円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、前期決算発表時（平成23年5月13日）の見通しを変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しています。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第1四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入額」は営業外収益の「その他」に計上していますが、前第1四半期連結累計期間については遡及処理を行っていません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,359	23,384
受取手形及び売掛金	26,213	23,671
商品及び製品	2,442	2,953
仕掛品	2,109	2,152
原材料及び貯蔵品	5,085	5,879
その他	5,121	5,779
貸倒引当金	△444	△561
流動資産合計	61,887	63,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,305	18,669
機械装置及び運搬具（純額）	2,100	2,349
工具、器具及び備品（純額）	1,354	1,385
土地	6,832	6,843
リース資産（純額）	14	12
建設仮勘定	909	260
有形固定資産合計	29,517	29,521
無形固定資産		
のれん	816	817
その他	1,971	1,964
無形固定資産合計	2,788	2,782
投資その他の資産		
投資有価証券	4,434	4,357
長期貸付金	20	20
その他	6,350	6,052
貸倒引当金	△179	△164
投資その他の資産合計	10,625	10,265
固定資産合計	42,930	42,568
資産合計	104,817	105,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	10,683
短期借入金	2,389	336
1年内返済予定の長期借入金	2,312	2,312
未払法人税等	563	542
賞与引当金	1,676	1,953
工事損失引当金	2,394	2,884
その他の引当金	456	414
前受金	6,607	8,817
その他	4,725	4,211
流動負債合計	31,693	32,156
固定負債		
長期借入金	1,287	1,286
退職給付引当金	4,375	4,591
その他	300	300
固定負債合計	5,962	6,178
負債合計	37,656	38,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	55,744	55,106
自己株式	△128	△129
株主資本合計	82,715	82,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404	409
為替換算調整勘定	△20,309	△19,460
その他の包括利益累計額合計	△19,904	△19,051
少数株主持分	4,350	4,466
純資産合計	67,161	67,492
負債純資産合計	104,817	105,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	24,663	21,919
売上原価	20,038	17,854
売上総利益	4,625	4,064
販売費及び一般管理費	3,528	3,723
営業利益	1,096	340
営業外収益		
受取利息	76	56
受取配当金	75	69
助成金収入	74	—
その他	131	40
営業外収益合計	358	167
営業外費用		
支払利息	54	33
為替差損	96	63
その他	71	15
営業外費用合計	221	112
経常利益	1,232	396
特別利益		
固定資産売却益	269	0
貸倒引当金戻入額	13	—
特別利益合計	282	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	3
投資有価証券評価損	—	85
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	21	89
税金等調整前四半期純利益	1,493	307
法人税、住民税及び事業税	332	236
法人税等調整額	△214	△123
法人税等合計	117	113
少数株主損益調整前四半期純利益	1,376	193
少数株主利益	268	176
四半期純利益	1,107	17

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,376	193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	4
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	304	999
その他の包括利益合計	△118	1,003
四半期包括利益	1,257	1,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	939	870
少数株主に係る四半期包括利益	317	327

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,931	3,220	160	2,479	6,872	24,663	—	24,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	684	5	0	50	332	1,074	△1,074	—
計	12,615	3,225	161	2,530	7,204	25,738	△1,074	24,663
セグメント利益又は 損失(△)	△139	△10	6	371	878	1,106	△10	1,096

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円には、セグメント間取引消去21百万円、のれんの償却額△23百万円およびたな卸資産の調整額△8百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,540	2,343	98	2,360	6,576	21,919	—	21,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	670	4	1	0	513	1,191	△1,191	—
計	11,210	2,348	100	2,361	7,090	23,110	△1,191	21,919
セグメント利益又は 損失(△)	△199	△258	△8	418	389	341	△0	340

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去10百万円およびたな卸資産の調整額△10百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
該当事項はありません。